

## 国際的な質の保証－エラスムス・ムンドゥスの経験から

### 概 要

エラスムス・ムンドゥス計画は、その主要な目的の中でもとりわけ、国際的な連携を通じて欧州の高等教育の質を高めること、そして欧州を世界における優れた研究拠点として高めることを目指している。この目的を遂行するため、エラスムス・ムンドゥスは、2004年より、500校以上の欧州の大学が参加する116の共同修士課程の設置を支援してきた。多様な学問領域を扱うこれらの修士課程では、これまで世界中の8,000人を超える学生に正規就学の奨学金を授与し、2,000人近い研究者を迎えてきた。

エラスムス・ムンドゥス質保証（EMQA）プロジェクトは、第1期の6つのエラスムス・ムンドゥス修士課程の進展を調査する任意の試みとして2008年に開始された。2009年にはさらに6コースが任意で調査対象となった。EMQAにより、欧州委員会は、エラスムス・ムンドゥス・コースのライフ・サイクルを通じて「卓越性」が達成されるプロセスを把握しようとしている。コースへの訪問調査は、信頼と守秘義務の精神に基づき、失敗と挑戦から学びつつグッド・プラクティスを見出し、認めるという目的をもって行われる。

これらの訪問調査の結果、質の高いエラスムス・ムンドゥス・コースの発展に不可欠な4つの「卓越性の要素」が構築された。①「教育と学習の質」の要素は、次の点を取り扱っている。卓越したカリキュラムの設計、コース目標と達成成果の伝達、学生の能力の開発、学習スキルの向上、国際的な学習および就業、言語能力の向上、教育および学習環境の管理、研究活動と研究施設、一貫した教育実践、企業家精神とビジネス・スキル、学生の学習に資するインターンシップ、一貫した成績評価方法、正式なコース・レビュー。

②「施設、ロジスティックスおよび財政」は、次のような事項を取り扱う。コースへの出願、学生の資格の確認、到着前の学生に対する勉強準備、欧州域外の学生の欧州への移動、欧州域外の学生に対する欧州の学術慣行の紹介、パートナー機関間の移動、学生の資金、学生とのコミュニケーションおよび学生相談、同窓会からの財政的援助。

③「リーダーシップと機関の質」は、以下に焦点を当てる。最高の質を誇る教員チーム、確固としたコース「ブランド」の創出、機関レベルのコミットメントの確保・維持、国際的な教育と研究、コースの継続と教員のリーダーシップ、コース継続のための戦略、財政面の持続可能性。

④「実務における連携とコンソーシアムの統合」は以下に関連する。学生の選抜、コンソーシアムの情報システム、授業料に関する方針、コンソーシアム内の業務分担、コンソーシアム全体の質評価プロセス、コンソーシアムの管理、修士号授与の方針。

EMQAプロセスの成果として、エラスムス・ムンドゥス・コースの現在または将来の参加者に対する手引きとなる「エラスムス・ムンドゥス質保証ハンドブック」の作成がある。これは、「卓越性の要素」に照らして教育コース提供者が自らの強みまたは弱みを評価することができる、オンラインによる「自己評価ツール」を伴っている。両者は、エラスムス・ムンドゥス卓越性ウェブサイト(<http://www.emqa.eu>)を通じてアクセスすることができる。

これらの成果物の付加価値は、これらがエラスムス・ムンドゥス・コースの提供に実際に携わった者からの実務的なフィードバックに基づいているということである。連携型で、評価判断を伴わないEMQAプロセスに参加するコースが経験を積み重ね、かつ、他の経験を共有することにより、自身の質を高めるとともに、「自己評価ツール」の質をも向上させる。